



薬師如来坐像（令和3年迎仏奉安）

日々好日



弘法大師



日々好日

六六七号

（令和六年九月発行）

七月三日、二十年振りに新札が発行されたその日、さるレストランで食事をする機会があった。料理の注文は机上のタブレットでし、料理はロボットが運んでくる。支払いもキャッシュレス。私には対応不能である。

こうしたAIの時代、新札の発行にどのような意味があるのでしょうか。個人経営の店など新札に対応する機器の購入は負担が大きいという。

この新札の紙はネパール産の楮が用いられているという。これは国際貢献の一つかもしれない。

このお金、民俗学的には汚いものとされる。罰金・賠償金・手切れ金等々、犯した罪などを帳消しにして人間関係を対等なものにしてしまい、何もかも無にし死にいたらしめるとされる。これがお金の本質だという。

賄賂とか裏金とかお金に対するイメージが著しく悪い今日現代、お金の本質はともかく災害復興や福祉施策にはお金が不可欠です。このお金ならではの効用を考えて行使する人間でありたい。

新札の発行から一カ月近く経って北里柴三郎氏に初お目見え、渋沢栄一氏・津田梅子氏との対面はいつのことでしょうか。クーラーなしでは生きられない猛暑の日々の妄想である。

弘法大師のお言葉

「衆生の解脱せざるは、只、

名利を貪るによる」（宗秘論）

（悟ることができないのは、ただ、名誉にこだわり、お金に執着するからである）



茶室といえば、露地という庭を抜け躰り口から身を縮めて入るのが私の知る茶室のイメージです。万徳院の茶室もそれがあり、透門の手前には織部灯籠や躰りがあり、門を入ると躰り（つくばい）があり待合（寄り付き）も備えています。

内部は躰り口の向いは床で、炉畳があります。傍らには水屋もあります。

また上部を円形にした入口（火頭口）も目につきます。炉のそばの中柱は旧茶室では趣のある曲った柱でしたが、現在は写真の如くです。



(茶室品泉楼内部)

その茶室の奥に井戸があります。万徳院には父が晋住するまで水道が敷設されていませんでした。三百年以上もこの井戸水のみで生活していたということです。

お寺は山の中腹で地形的に水があつまる谷間でもありませんから、かなり深く掘らないと水は得られません。文字通りの生命線この井戸は大切に維持されてきたことは想像できます。水は釣瓶で汲むのですが恐怖を感じるほど深い井戸です。

この井戸に関するものが「万徳院由来記」にも記されています。それは読みづらい漢文ですが、次のようなことが綴られています。

「第七代住職の源善師が慶長年間に石を積み重ねて作り上げられた井戸で、その深い井戸の底から炎暑の時でも冷気があがり、瓜などを井戸の傍らの穴の中に置いておくと、夏の日、清々しく美味しく食することができる」
ほぼこのような意味のことが書かれています。確かに井戸の山側には深く掘り下げられた穴状のものがあります。冷蔵庫のない時代の人知なのでしょう。

風穴風門各越颯 我洲防府亦聞之
熱時誠置甘瓜類 頃刻令人若嚼澌

（風穴風門各々すずしい風を起す
わがくに防府にも同様のことを聞く
暑い時試みに甘き瓜などをここに
置けば
刻よきに人をして氷をかみ砕くが
ごとし）

…これは天龍寺、古溪性琴禅師の詠まれた詩だとあります。…
この井戸に建屋を建て水神様をお祀りするようになったのも先代俊澄でした。



今年も梅雨の末期の豪雨で、東北地方などで河川が氾濫して大きな被害がでました。災害時には避難所がもう

あとがき

梅雨が明けて連日の猛暑に電気代を気にしながらも、クーラーなしでは身体だけでなく思考もあやしくなります。この暑さ、熱中症は老人や子どもだけではありません。健康第一にこの夏を乗り切りたいものです。

フランスのパリ五輪が開催されていますが、メダルを期待される選手のストレスは大変なようで、女子体操の選手が飲酒喫煙にはしり出場を辞退するようなこともありましたが、連覇が信じられていた、女子柔道の阿部詩選手が二回戦敗退で、人目をはばからずの号泣には驚きました。が、気楽な平々凡々な日暮らしをしているものにはありえないことである。負けた悔しさは力になれど無駄にはならない。

原爆の日・終戦記念日もありますが世界は平和の祭典五輪の開催中も戦争は続けられ多くの貴い命が失われています。トランプ前アメリカ大統領暗殺未遂事件もありましたが、一人を殺せば犯罪者とされるのに、戦争で万余の人が殺されても誰も咎められないという理不尽さに憤りを感じないではありません。

お盆の諸行事を終えれば九月にはお彼岸がまいります。お盆とは違った意味合いで、ご先祖さまにおもいを馳せながら、仏道修行（六波羅蜜・布施・持戒・精進・忍辱・禅定・智慧）に努めたい。

発行者

高野山真言宗

寶池山 龍門寺

吉岡光昭



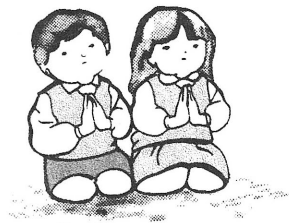
有難や

衆病悉除の

薬師佛

拔苦与楽の

頼れるほとけ



岩国市通津 3634 番地 3

☎740-0044

高野山真言宗

寶池山 龍門寺 発行

☎岩国 (0827) 38-4611 番